



診療科のご案内

大阪母子医療センター
心臓血管外科

チーム力、総合力を誇る歴史ある心臓血管外科



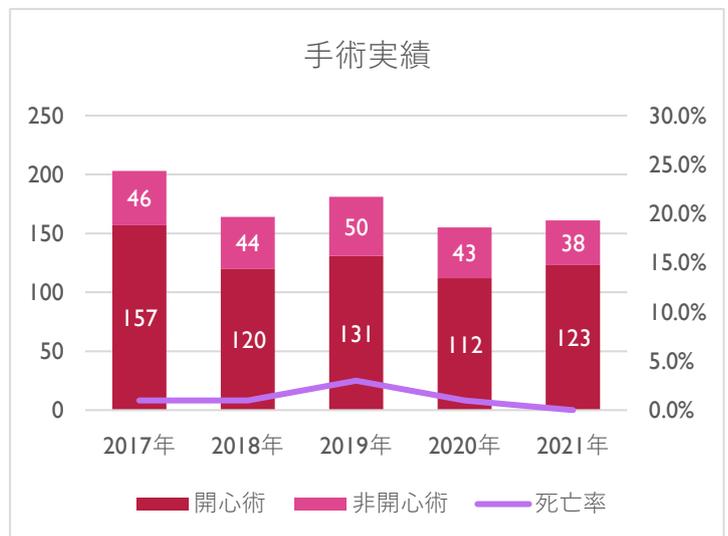
当センター心臓血管外科の歴史は古く、1991年に小児医療部門が開設されて以来、3,800例以上の子供たちを救ってきました。手術件数は2000年以降では、年間約100-150例の開心術を行っており、これは大阪府下でも1、2を争う手術件数となっています。私たちは、小児循環器科、集中治療科、麻酔科、新生児科等の他診療科と積極的に連携を行い、お子さんとご家族が安心して手術を受けられる体制を構築しています。チーム力、総合力においては日本でも有数の病院と自負しており、全国各地から

治療を受けに先天性心疾患を持つお子さんが集まってきております。

2014年の新手術棟の開設に伴い、PICUも増床され、より良い環境で日々手術を行っています。

先天性心疾患に対して幅広く先進的な治療を行っています

手術は、未熟児動脈管開存、心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー四徴などの修復術に加え、単心室に対するの段階的手術などを多く行っていますが、左心低形成症候群、完全大血管転位、総肺静脈還流異常など、新生児期に手術が必要な複雑心疾患の外科治療も積極的に行っています。このように、先天性心疾患に対して幅広く先進的な治療を行っていますが、豊富な手術経験から、お子さんの安全第一をモットーに掲げ、日々診療を行っており、平均手術死亡率は0.7%(全国平均は約1.3%)です。2021年に関しては年間手術死亡数0を達成しました。



近年では幼少期に先天性心疾患の心内修復術を行ったお子さんが、成人期に達して再手術を必要とする“成人先天性心疾患”の症例も増えており、現在では40歳までの方は当院で手術を行っています。必要な場合は、連携をしている大阪大学医学部附属病院への紹介も行っています。

また、近況としましては、2022年5月から津村早苗(旧姓山内)が部長に就任し、フレッシュな気持ちで新体制をスタートさせていますが、伝統を引き継ぐとともに以前と変わらぬ良好な成績を維持しておりますので、今後ともよろしくお願ひします。



子どもの エキスパートが集結

先天性心疾患は、疾患の重症度、胎児診断、術前の細部にわたる診断、手術術式、術後の急性期血行動態の管理が重要です。そのためには、心臓血管外科だけではなく、小児循環器医、集中治療科のほか、専門的な知識を持った看護師、臨床工学士、心理士、理学療法士等、多くのエキスパートの関わりが重要となってきます。当センターでは、長きにわたりそれぞれのエキスパートが育成され、高いレベルの専門職同士が連携しているため、質の高い医療を提供できています。お子さんが安全で確実な手術を受け、その後すくすくと育っていくための医療を提供できる総合力を持ち合わせているは、当センターの大きな特徴です。



小児循環器グループとして 24 時間対応可能

当院小児循環器グループは、24 時間小児循環器内科医または小児心臓血管外科医が常に院内に待機しており、かかりつけはもちろん、搬送依頼なども、昼夜問わず、断らない医療を目指して、丁寧に対応を行っています。また、対応の一環として、専門医と直接電話相談できるホットラインを設置していますので、随時ご相談ください。

心疾患ホットライン (24 時間受付直通)

☎0725-56-3833



■お気軽にご相談ください。

セカンドオピニオン外来、コルセット外来などの診療も行っていますので、先天性心疾患に関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



心臓血管外科ホームページ



PICU ホットライン(24 時間受付直通)

☎ 0725-56-1070

重篤な小児患者さんを積極的に受け入れています

子どもの手術は当センターにお任せください

- ・小児の麻酔、看護に精通しています。
- ・チームでの医療を実践しています。
- ・家族の付き添いが必須ではありません。



泉北高速鉄道 光明池駅 徒歩 5 分

大阪母子医療センター 患者支援センター

〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220 (代表)

初診予約 : FAX **0725-56-5605** (24 時間受付 : 午後 7 時以降受領の FAX の回答は次の受付開始後です)

(2022 年 9 月発行)